



令和3年2月26日

小田原市立下中幼稚園

子どもたちが植えたチューリップの芽が伸び、さくら組から見える梅の木が花でいっぱいになりました。バケツに張った水が凍らない日が増え、少しずつ、春が近づいてきていることを子どもたちと一緒に感じています。あっという間に2月も終わり、いよいよさくら組としての生活も残すところあと一ヶ月です。たくさん遊び、たくさん学び、たくさん成長し、かっこいい姿で自信をもって進級できるようにしていきたいと思ひます。

今月の様子

1月から継続して遊んでいるプリンセスごっことレストランごっこ。仲間意識をもち、声を掛け合ったり試行錯誤したりしながら遊んでいます。同じ遊びでも、子どもたちの成長とともに遊び方や友達との関わり方、学びなど、どんどんと変わっていくのだと感じています。



「ここ押さえてるね」と、力を合わせながら、プリンセスのカバン作り。友達と力を合わせながら遊ぶ姿に成長を感じます。



アナと雪の女王に出てくる氷の城をイメージしながらの製作。生活発表会の経験を思い出しながら、「城を建てるにはゲームボックスが必要」と気づき、みんなで繋げていきます。「僕こやっていい?」「私はこれをやりたい」「誰かここ押さえて」と伝え合いながら、城と階段を完成させました。



氷の床作りでは、氷をイメージする色を出し合うと「青」「白」「水色」と、それぞれ違い意見が合わず…。「それなら全部使っちゃおう!」と、色の混ざり具合を楽しみながら3色使って作っていきました。大きな雪の結晶を貼り付け、素敵な床が完成すると、料理をつくらしたり手作りの絵本をオラフに読んであげるなどして世話をしたりしながら楽しんでいます。アナとエルサ以外のプリンセスは、凍ってしまわないように、魔法をかけてくれるようです!



ラプンツェルの塔作りでは、仲良しの2人で話し合いながら設計図を描き、それをもとに形にしていきました。「ここはこうしようよ」「もっとこうじゃない?」と、よく相談して進めていきます。



屋根の色塗りでは「青とオレンジを混ぜたら変になっちゃったけど、赤を入れたら紫ができたよ!」とみんなに教えてくれました。試行錯誤しながら取り組むことで、学びや、できたときの嬉しさも倍になります。



「窓の下には花が飾ってあるよね」と、花やプランターも作りました。色合いを考えながら、長い時間集中して取り組むことができました。



いよいよ完成が近づいてきました。窓から顔を出して、とっても嬉しそうですね!



戸外遊びでは、竹馬やフラフープ、縄跳びなどに挑戦しました。「1、2、3…」と自分で数えたり教師や友達に数えてもらったりしながら行い、「〇回できたよ!」「さっきよりもできるようになったよ!」と、できた喜びを感じていました。



バケツに水を入れて氷作りに挑戦。どうしたら氷ができるのか、できないのかをよく考え、外の寒い場所にバケツを置いてみました。「今日は芝生が白いから凍っているかな?」と期待しながら登園し、凍っているのを発見すると大喜びでした。



包丁を使ってジャガイモの種芋切り。「ジャガイモの種って、ジャガイモなの?!」と、驚く子もいる中、ドキドキしながら、可愛い猫の手で切っていました。1つの種芋を切ったら、2つの種芋に増えました!



饒村さんのご指導の下、ジャガイモ植えを行いました。よく話を聞き、よく考えながら行うことができました。「ジャガイモは土の中にできること」「ジャガイモは水が嫌いなこと」など、いろいろなことを教えてもらいました。大きく育てる為に、雑草抜きも頑張るぞ!